

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 東幸会	代表者	伊藤 友子	法人・ 事業所 の特徴	八戸市常番町に位置し、中心街から徒歩5分の閑静な住宅地にあることから、交通の便も良く、市立図書館バス停より徒歩1分と、面会者や来客者にも便利な場所に建っています。地域活動としましては同町内会への加入はもとより、地域住民の介護相談へも積極的に取り組んでおります。
事業所名	小規模多機能ホーム サンシャイン	管理者	前田 靖子		

出席者 (書面)	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の 確認	<p>★サービス評価未経験のスタッフと、経験済みのスタッフと2人組で2項目ずつ担当して実施は継続。意見の擦り合わせも、朝礼時に、担当者が擦り合わせを行う事を伝え、実施出来る様に皆が協力し合い時間を作る。意見の擦り合わせ時、または会議の時だけではなく、日頃から意見交換等行い、意見を出しやすい環境を作っていく。</p>	<p>*組み合わせ、実施方法等慣れて来ており、意見の擦り合わせ等スムーズに行われました。</p> <p>*自己評価も提出期限を定めて行いでしたが、殆どの職員が早めに提出を心掛けてくれ、意見の擦り合わせも早い段階から進められ、焦ることなく出来ました。</p>	<p>◆改善計画通りに取り組んでいると思う。</p> <p>◆LINEWorks等のアプリを積極的に活用してスタッフの方々の業務軽減を図るようお願いいたします。</p> <p>◆スタッフ間での情報共有の仕方や、未経験者と経験済みのスタッフで組み、意見の擦り合わせをするなどの工夫、出来ない等評価だけではなく、出来ない理由を考えていく点など、貴事業所の取り組みがよく分かりました。</p>	<p>●スタッフと2人組で2項目ずつ担当して実施は継続。意見の擦り合わせも、LINEWorksで担当者が実施する事をスタッフに周知し、協力し合い時間を作る。</p> <p>●LINEWorksの文字だけのやりとりでは、思いまでは届かない為、対面での意見交換も交えながら、現状よりも上手くLINEWorks使い、スタッフの思いの共有や、業務内容軽減などに活用していく。</p>
B. 事業所の しつらえ・環境	<p>★悪路の部分は、複数の業者から見積もり取っており、3月に舗装工事を実施する予定。</p> <p>★逆走車やバックで入って来る車両は無くなりましたが、ポスター掲示は継続していく。</p> <p>★最近、近所の子供が玄関前の通路を通り抜ける事があり、送迎車と接触しそうになる危</p>	<p>*残念ながら、舗装工事は行われず、駐車場側の道路に向っての通路は利用出来なくなりました。幾度となく交渉を行いましたが、使用不可の結論変わらずに、一方通行側での車両の出入りとなり、近隣皆様、通行者、通行車両の方々にはご迷惑をお掛けしており</p>	<p>◆駐車場管理者から通行を認めないとの事ですが、現在の出入れの仕方を継続しながら、粘り強く交流をしていくべきと考えます。</p> <p>◆ご家族様、スタッフの為に、積雪・凍結前に市道箇所交通安全対策を講じる様にお願ひします。</p>	<p>●駐車場に関しては交渉継続困難と考え、通路を使用せず車両の出し入れに充分気を付け、ミラーも設置済みの為活用をして事故を起こさぬようにする。</p>

	ない場面がありました。車両だけではなく、歩行者への注意喚起も行っていく。	ます。また、車両の出入りが危険の為、ミラーを設置しました。	◆駐車所の件は、安全対策など出来る工夫をしていくしかないのではと思いますので、事故の無いよう、気を付けて頂ければと思います。	
C. 事業所と地域のかかわり	<p>★コロナ感染症対策を実施しつつ出来る事を出来る範囲で行っていく。</p>	<p>*コロナ感染症に対し、定期的に指針が変更となっていた為、状況に合わせて対応を変えながら行ってきました。季節感や天気の良い日のドライブなど地域に出掛けることが出来ました。</p>	<p>◆コロナ禍が続いていて、出来ることは限られていると思いますが、駐車場の件で声を掛けて頂いたり、お野菜を届けて頂いたりなど、地域の方との関わりを大事にされているからこそだと思います。これからもより良い関係作り続けて頂ければと思います。</p> <p>◆コロナ感染所の終息が未だ見えませんが、出来る範囲での取り組みをお願いいたします。地域としても、引き続き協力して行きたいと考えております。</p> <p>◆事業所は地域から理解され、協力が不可欠である事を常に考えて行くべき。</p>	<p>●コロナ感染症が五類感染症に変わった時には、法人の方針に則り、当事業所のできる範囲で、対応を検討し地域の方々と交流を図れるように検討して行く。</p> <p>●地域との関わりを常に意識し、協力依頼や地域の為に出来ることを利用者様の利用状況を鑑みて対応をしていく。</p>
D. 地域に向いて本人の暮らしを支える取組み	<p>★個別外出で利用者様所有の山に行ってお山菜をスタッフも一緒に採りに行く、ヒマワリが見たい等、希望を引き出しながら、コロナ感染症を確認し個別に対応する。</p> <p>★コロナ感染症だから何も出来ない、ではなく、どうしたら安心して安全に実施出来るかを検討していく。</p> <p>★令和4年5月1日は開設10周年となる為、利用者様、ご家族、近隣の皆様に“ありが</p>	<p>*個別外出対応時期にコロナ感染症が市内で多くの罹患者がいた為、断念せざるを得ませんでした。外出には良い季節に利用者様、職員も感染してしまい、業務自体にも影響を及ぼしてしまったため、行動範囲を狭めてしまう原因になってしまったと思います。</p> <p>*10周年には、スタッフの手作りの10周年記念写真集を作成し、また、ラベルに思いを込めた日本酒を地域の方々、お</p>	<p>◆高齢の方は何かをしたい、と表現されることが少ない様に感じますし、それを引き出し希望に沿っての対応をしていく事は大変だと思いますが、ぜひ継続して頂きたいと思いました。また評価一覧表の方で、地域の民生委員の活動などのお話が出ていましたが、高齢者支援センターで把握していることもあります。民生委員の方の月1回の集まりなどもありますし、この地</p>	<p>●個別外出は利用者様の思いを引き出さなければならない為、関わりを充分に行い、利用者担当の意味を理解し意識を高め、自宅内外での社会との繋がりを継続出来る様に、支援していく。</p> <p>●利用者様住居地の民生委員を高齢者支援センターの協力を得て把握し、協力をし合いながら地域でも支えていける環境を整える。</p>

	とう”と伝えられる機会を作る。	世話になった方々にお配りする事が出来、良かったと思います。また、記念パーティーでは、利用者様にバイキング形式で沢山の食事をして頂き、ご家族様へ感謝状をお渡しする事が出来ました。	域の民生委員さんは誰か、などという事も分かりますので、ぜひセンターを活用して頂ければと思います。	
E. 運営推進会議を活かした取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>★コロナ感染症発生状況を確認し、対面会議を行う。</li> <li>★運営推進会議を対面で行い、地域交流祭、子供縁日等、の話し合いを勧め実施する。</li> <li>★対面会議時には、勤務を調整しスタッフも参加出来る様にしていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>*残念ながら、対面での会議、地域交流祭、子供縁日は開催する事が出来ませんでした。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆対面での運営推進会議が難しい中、丁寧に報告して頂き、また、こちらからの返事も毎回きちんと把握して下さって、ありがとうございます。スタッフの方にも伝わっていると思います。</li> <li>◆委員の構成員になっている民生児童委員から色々な情報を聞く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●コロナ感染症が二類から五類へ変更予定でもあり、五類変更時は、法人の方針、サンシャインの方針を指針にし、また、政府、自治体の方針を確認し、対応していく。</li> <li>また、委員の方からもご意見をいただきながら、対面の開催実施再開の時期を決める。</li> <li>●対面での開催が決まった時には、スタッフも参加出来る様に、勤務に配慮しシフトを作成する。</li> </ul>
F. 事業所の 防災・災害対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>★BCP（感染症・災害時）は変更時、常に更新していく。法人や特養サンシャインが関わる部分もある為、出来上がり次第確認とすり合わせを行っていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>*特養サンシャインとは別にBCPを作成し、必要物品などの準備は順次揃えております。</li> <li>*BCPのシミュレーションは毎月、紙面ですが工夫して行う事が出来ました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆普段のシミュレーションをしっかりと行なう事で、有事の時に慌てずに対応できると思います。また、コロナに関しては、定義が変更になったりなど、随時の確認も必要な中、定期的な見直し、事業所間だけではなく、御家族にも毎月お知らせしている点、良い事だなと感じました。</li> <li>◆現在、長者地区では自主防災組織の立ち上げを検討しております。その際は、事業所も含め、連携していけたらと思います。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●毎月行っているBCPシミュレーションは、コロナ感染症に限らず、想定される感染症をテーマに行い、災害時、感染時のシミュレーションを行っていく。</li> <li>●長者地区自主防災組織立ち上げ時、出来る限りの連携を行っていく。</li> </ul>

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年10月11日(14:15~)  
令和4年10月21日(17:00~)

1. 初期支援(はじめのかかわり)

メンバー 前田・荻ノ沢・近藤・滝野・木村・柏崎  
地代所・鈴木・佐々木

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	9人	0人	2人	13人

前回の改善計画
スタッフは知り得た共有すべき情報を社用スマホアプリラインワークスで発信し、就業前に確認する事により、統一したケアを提供していく。家族・利用者の思いや要望を引き出すため、施設と家族の共通理解のために、送迎時には関わりを持ったり、家族間との連絡ノートを活用したり、満足したケアを提供できるよう努める。全スタッフが、ラインワークスの活用を意識し、特定のスタッフのみが発信するのではなく、各々が努力し活用できるようにしていく。
前回の改善計画に対する取組み結果
日々のミーティングは日勤者が集まる時間の確保が難しく、また公休のスタッフは参加出来ず、情報が全スタッフに届かないことがあった。それを解消するためにラインワークスを活用することで、情報が素早く全スタッフに届くようになった。また、ライン上で意見交換することもできている。しかし、ラインワークスを積極的に活用出来ている人と、躊躇して活用できていない人がありバラツキがあった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?		✓			13
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?		✓			13
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?		✓			13
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?		✓			13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>ラインワークスの活用が増え、スタッフ間での情報伝達スピードが速くなった。</li> <li>契約時等に管理者とスタッフで自宅に伺うなどして情報収集を行っており、初期利用においての不安解消にもつながっている。</li> <li>各スタッフは、利用者に日頃と違う事があった場合、連絡ノートに記載することにより、家族が気づかない事柄を早く伝えることができている。</li> </ul>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>午後のミーティングは時間的に難しく出来ておらず、申し送りのみでは情報にバラツキがある。そのためラインワークスを利用しているが、発信は特定のスタッフが行っているケースが多い。</li> <li>新規の利用者の思い、その家族の考え方が異なり、戸惑ってしまう事がある。</li> </ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者の情報や対応、業務連絡が素早くスタッフに届き、統一したケアが実施できるようラインワークスを躊躇なく活用し、積極的に発信できていないスタッフには理由を聞き、解消しきちんと発信できるように指導していく。</li> <li>スタッフは送迎時や連絡ノートで家族との関りを深め、利用者様・家族に満足したケアを提供出来るよう努める。</li> </ul>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年10月11日(14:15～)  
令和4年10月21日(17:00～)

2. 「～したい」の実現(自己実現の尊重)

メンバー 前田・萩ノ沢・近藤・滝野・木村・柏崎・地代所  
鈴木・佐々木

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	3人	7人	2人	13人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>各スタッフは送迎時など個別に接する事ができる機会を活用して利用者や家族との関りを増やし、気持ちを引き出していく。</li> <li>「～したい」ことや参考にすべき過去の経歴など些細な事でも日々の介護記録や台帳に追記し、当該利用者を受け持つスタッフは自己実現ができるよう時間を上手く使い支援していく。</li> </ul>
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>家族との関りは増えて来た。コロナ感染症対策のため玄関先で検温している間に自宅での様子など聞けるようになった。しかし、「～したい」の聞き取りまでには至っていない。</li> <li>スタッフ各々がそれぞれの利用者への気付きがあるが、台帳への記入など情報共有の発信や対応の提案がなかった。</li> <li>以前の暮らし方など台帳への追記がうまくできておらず、「～したい」に繋がらない。</li> </ul>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	「本人の目標(ゴール)」がわかっていますか?			✓		13
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?			✓		13
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?			✓		13
④	実践した(かかわった)内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?		✓			13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>毎月の個人ケース会議は、全員でケアプラン見直しも確認でき、家族・本人の要望や他スタッフの意見も聞く事ができている。また、利用者担当スタッフからの目標発信はかなり増えている。会議に参加できないスタッフはメモを託して伝えている。</li> <li>介護記録システム画面にケアプランが載っているの、それに沿ったケアをするよう心掛けている。</li> </ul>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>過去の経歴や自宅での生活を追求せず、現状だけに目をむけてしまっているの、施設にいる時間だけにとらわれてしまっており、本人の目標や「～したい」の情報収集がうまくできていない。その人らしい自己実現ができるよう、時間を作れていない。また、「～したい」を聞いてもコロナ感染症防止のため、希望する所に出掛けることができなかった。</li> <li>台帳の活用ができておらず、連絡先のみ追記など業務的な変更ばかりで、生活の事はなかった。</li> </ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> <li>送迎時や連絡ノートで利用者や家族との関りを増やす事により、自宅での様子、利用者・家族の思い、「～したい」の情報収集を行い、台帳へ追記しラインワークスでも発信して共有し、小さなことからでも実現できるようにしていく。</li> </ul>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年10月11日(13:30~)  
令和4年10月15日(14:00~)

3. 日常生活の支援

メンバー 前田・荻ノ沢・近藤・滝野・佐々木・木村・柏崎  
鈴木

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	6人	4人	1人	13人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・担当者会議、モニタリング等で、管理者(介護支援専門員)が自宅を訪問する際は、他のスタッフの協力の下、同行させてもらう時間を作ってもらい、自宅での生活環境を把握し支援に繋げていく。</li> <li>・今現在の話に加え昔の話の聞き取りも行いその情報はミーティングや会議等で確実に発信し共有していく。</li> <li>・送迎時の短い時間であっても、家族との信頼を深めていく。</li> </ul>
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・モニタリング等の際、管理者(介護支援専門員)と同行し、自宅訪問をする機会を設け、自宅での生活環境の把握に努め、情報を共有し支援に繋げている。</li> </ul>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?			✓		13
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?		✓			13
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?			✓		13
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?		✓			13
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?		✓			13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用開始時(契約時)管理者(介護支援専門員)と担当スタッフが同行し、利用者本人、家族の思いを聞き出し、自宅での生活環境を把握し、知り得た情報はスタッフ間で共有し統一したケアができている。</li> <li>・利用者本人の異変に気づき家族内の虐待を通報する事が出来、利用者の気持ちや体調の変化にすぐしかるべき対応が出来た。また、ワーカーからの精神面や体調の報告が増えた。</li> </ul>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・家族の状況によっては、コミュニケーションが困難な場面もあり、情報の収集不足の為、利用者の以前の暮らし方や自宅での様子等10個も把握出来ていない。</li> <li>・話せる利用者、話しやすい家族からは自宅での様子や昔の状況など引き出しやすいが信頼関係が構築されていないケースは難しい。以前の暮らしよりも今の施設での生活を優先し家族の状況によっては情報収集が難しい部分がある。</li> </ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・送迎時、検温の時間を利用し、家族との会話を心掛け、以前の暮らし方や自宅での様子等、情報収集を試みる。家族と直接話が出来ない場合は連絡ノートを活用する。電話連絡時で情報収集し知り得た情報はミーティングやラインワークスを使いスタッフ間で共有する。</li> <li>・通い利用時、全利用者に関わりを持ち、会話の中で一つでも情報を引き出せるような雰囲気作りに努める。</li> </ul>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年10月11日(13:30~)  
令和4年10月15日(14:00~)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 前田・荻ノ沢・滝野・柏崎・木村・畑中・鈴木

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	2人	9人	1人	13人

前回の改善計画
<ul style="list-style-type: none"> <li>施設内とは異なる自宅での過ごし方、これまでの生活スタイル等を家族から聞き、ミーティング等で情報共有し、台帳に追記していく。特に新しい利用者は小さい事でも吸い上げていき家族との信頼関係も築いていく。</li> <li>民生委員の活動や地域の資源等はネットや研修で学び知識を各々が付けていく。</li> </ul>
前回の改善計画に対する取組み結果
<ul style="list-style-type: none"> <li>各利用者の担当スタッフや利用者のケアについてノートを活用しラインワークスで発信しているが、期日を決めて意見を求めているにも関わらず全スタッフからの返信ができていない。利用者にとってより良いケアをする為にも全スタッフで情報を共有し意見交換する機会をどんどん増やしていきたい。</li> <li>民生委員や地域資源についての役割について把握が出来ていなかった為、改めて必要性を感じた。スタッフ1人1人に確認したが理解しているスタッフは数人のみ。地域での暮らしの情報がバラバラだった。</li> </ul>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?			✓		13
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?		✓			13
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?			✓		13
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?				✓	13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none"> <li>送迎時、家族とのコミュニケーションを出来るだけ作り自宅の様子など知り得た情報は介護記録に入力している。利用者の施設の様子、宿泊者の夜間の様子、病院受診日等、連絡ノートに記入し家族との情報交換にも役立っている。</li> </ul>

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者の自宅周辺の事、地域の関係等把握出来ておらず民生委員の活動や地域の資源を把握出来ていない。</li> <li>個々の利用者の民生委員や地域資源について情報収集や知る術を知らず事業所での生活している事だけを重視してしまっている。</li> </ul>

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>民生委員、地域資源について、施設内で一年に一回以上勉強会を開催し、学ぶ時間を作る。</li> <li>事業所内での過ごし方を重視している為、生活(人生)の把握に至らず、利用者の発する言葉の意味を深く考えていなかった。</li> <li>ケアマネジャーが自宅訪問する時等に、現在よりもスタッフ同士が協力をし、同行出来る時間を作り、介護側の視点で自宅での生活も把握し、言葉の裏に隠された真意をひもときシートを活用し、理解を深めていく。</li> </ul>

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年10月18日(14:30~)  
令和4年10月21日(17:00~)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 前田・荻ノ沢・鈴木・滝野・佐々木・柏崎  
地代所・近藤

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	1人	8人	3人	13人

前回の改善計画
<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在の変化のみを注目するのではなく、利用者や家族に過去の生活歴を引き出すようなコミュニケーションを行い介護記録に残していく。その日のうちに追記、修正が難しい為、各利用者担当が介護記録の見直しの際に台帳へ追記、修正を行う。新人スタッフに利用者担当が付いた際は台帳への追記、修正の指導を忘れずに行う。</li> <li>・地域の資源について、ネットや研修で、学び知識を各々が付けていく。</li> </ul>
前回の改善計画に対する取組み結果
<ul style="list-style-type: none"> <li>・スタッフの入れ替わりがあり地域資源を理解しているスタッフが少なく、活用出来ていない。</li> <li>・利用者、家族とのコミュニケーションを取り情報の聞き取りは出来ている。緊急連絡先変更などの内容は台帳への追記や修正は直ぐに出来ているが、その他の情報の追記は出来ていない。</li> <li>・新人スタッフに利用者担当が付いた時には台帳へ追記、修正の指導を忘れずに行っているが、先輩も含め出来ていない。</li> </ul>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?				✓	13
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?		✓			13
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?		✓			13
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?		✓			13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・送迎時や連絡ノートを活用して家族とのコミュニケーションをはかり、出来る限り、「泊り」「通い」「訪問」の要望に応じる事が出来ている。家族だけでなく、利用者の状態に応じて臨機応変にサービスを提供している。利用キャンセル時は代替日の提案を行い、急な休みがあった場合は入浴日の変更を行っている。</li> </ul>

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・過去の生活歴を会話の中で引き出し介護記録に記録しているが、過去に関しての台帳への追記、修正が出来ていない。</li> <li>・地域資源について事業所内で以前勉強会を設けたが、スタッフの入れ替わりがあり地域資源について理解しているスタッフが少なく活用出来ていない。</li> </ul>

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、利用者や家族から過去の生活歴を引き出すようなコミュニケーションを行い、介護記録に残していき、各利用者担当が介護記録の見直しの際に台帳へ追記、修正を行う。</li> <li>・地域資源について毎年、事業所内で勉強会を開き、全ワーカーに周知できる場を作る。</li> </ul>



事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 4 年 10 月 18 日 (14:30~)  
令和 4 年 10 月 21 日 (17:00~)

6. 連携・協働

メンバー 前田・荻ノ沢・鈴木・滝野・佐々木・地代所・近藤

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0 人	4 人	1 人	8 人	13 人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナウイルス感染症が日常化している為、感染対策をしつつ、事業所としては大きなイベントに拘らずに、無理をせずに来れる所から再開していく。事業所外活動に関しては、参加・協力の要望があった場合には出来るだけ参加・協力をしていく。</li> </ul>
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所でのイベントは感染対策をしつつ、出来る範囲で行う事が出来た。他事業所や町内会のイベントへの参加はコロナ感染症で自粛しており、現状、積極的な参加、活動は行っていないと判断しているが、可能な場合は参加の意向はあった。</li> </ul>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？				✓	13
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？				✓	13
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？				✓	13
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？				✓	13

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・担当者会議等可能な限り開催し、不可能な場合は電話や照会等で対応している。コロナ感染症の対策をしつつ、施設内行事は実施し行う事が出来た。地域の方より野菜の差し入れや施設内行事等で駐車場スペースがない際、近所の方から駐車場スペースの提供や協力が得られており交流は継続している。</li> </ul>	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ感染症で自粛しており、事業所外活動への積極的な参加、地域の方、利用者家族を招いての大きなイベントは行う事が出来ていない。</li> <li>・地域の方へはコロナ感染症の対策で事業所への来設を控えてもらうよう周知してる為、地域住民が訪れる事はほとんどない。</li> </ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ感染症を日常ととらえ、来設者カードの活用などの感染対策をしながら、施設内のイベントに利用者家族を招く、来設者の受け入れ、と活動を広げていき地域交流祭の再開を目指す。また、地域活動等の事業所外活動にも参加・協力し、地域連携に努める。</li> </ul>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年10月15日(14:15~)  
令和4年10月22日(14:15~)

7. 運営

メンバー 前田・荻ノ沢・滝野・近藤・地代所・山上・鈴木松橋

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	4人	5人	3人	13人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナウイルス感染症が終息していないが、地域や地域や家族との交流は限られたことでも継続していく。</li> <li>・ラインワークスの活用を全スタッフが積極的に行い、スタッフ間の情報交換を今まで以上に行っていく。</li> <li>・家族や地域の方からの要望は、ラインワークス、申し送りで速やかに発信し、適材適所で働けるスタッフが対応して行く。</li> </ul>
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ感染症対策の為、イベントへの参加は出来ていないが、権現様のマスク制作活動などできる事への参加は出来た。利用者・家族・地域からの意見などはラインワークスや申し送りで共有できたが、発信者には偏りが見られた。</li> </ul>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができているですか?			✓		13
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?		✓			13
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?		✓			13
④	地域に必要なとされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?		✓			13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者、家族、地域の方などからのご意見・要望は真摯に受け止め、しかるべき部署に報告し、必要な時は法人に相談し慎重に対応している。家族からのご意見・要望は直ぐに申し送りし話し合いを実施している。また、再び繰り返さないようにラインワークス、ヒヤリハット、申し送りなどですぐにスタッフ間で周知している。</li> </ul>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・勤続年数の違いで、運営について意見を言ってもいい立場なのか分からず、発言を躊躇してしまうスタッフがいる。</li> <li>・外部を交えた活動は控えている為、地域の方からの意見を聞く機会が少ない。</li> </ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ感染症を日常として感染対策を継続しながら可能な範囲から交流を増やしていく。可能であれば、BBQ開催時等家族にも声を掛け、次に地域の方々も含め、最終的には地域交流祭の再開と段階を踏んで無理のない範囲で実施していく。</li> <li>・日常からスタッフ間で声を掛け合い、意見を言い合える環境作りを行う。ラインワークスの活用は全スタッフが積極的に行い、情報交換をこまめに行っていく。</li> </ul>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 4 年 10 月 15 日 (14:30～)  
令和 4 年 10 月 22 日 (14:30～)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 前田・荻ノ沢・滝野・近藤・地代所・山上・鈴木・松橋

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	9人	1人	3人	13人

前回の改善計画	ヒヤリハットを書いたら、同じことを繰り返さない為に3日間申し送り全スタッフで周知する。通常業務に追われ、気持ち、時間に余裕を持たずに、研修への参加が消極的になってしまっているが、スタッフ相互にフォローし合い、声を掛け合う事で時間と余裕を作っていく、研修へ積極的に参加していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ZOOM等のオンラインでの研修の環境が整い、参加しやすくなった為、研修を受講するスタッフが増えた。</li> <li>・ヒヤリハットに関しては以前改善した用紙を継続し、記入した後にラインワークスで周知し、出勤時に直ぐに確認するようにしている。よって、スタッフへの周知が早くなっている。</li> </ul>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか		✓			13
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか		✓			13
③	地域連絡会に参加していますか				✓	13
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか		✓			13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・職場内研修はオンラインの為定期的に参加している。また、外部の研修もZOOMなどを使用し積極的に参加している。</li> <li>・ヒヤリハットは申し送りではなくラインワークスで一報となったので周知が早くなった。</li> <li>・ZOOMの環境が整った為声を掛け合い、業務の時間を作ってもらい研修に参加しやすくなった。</li> </ul>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域連絡会には開催の案内がなく参加できていない。</li> <li>・ヒヤリハットや事故などがあつた際には話し合う場を設けているが、その日の出勤者のみになってしまう事が多く、全員への周知に差が出ることもある。</li> </ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・小規模会議時に、以前から続けている各スタッフが講師となり、その時に必要と思う勉強会を行っていく。例えば、認知症実践者研修を終えたスタッフが認知症の勉強会、高齢者虐待の研修を受けたスタッフが、同内容の勉強会を実施していく。</li> <li>・ヒヤリハットに対しては、躊躇することなく積極的に各々が記入、ラインワークスで周知し速やかに各自が確認し繰り返し起こさないようにする。</li> <li>・積極的に研修を受け、スキルアップを図り、スタッフ間で切磋琢磨していく。</li> </ul>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年10月11日(15:00～)  
令和4年10月21日(17:00～)

9. 人権・プライバシー

メンバー 前田・荻ノ沢・滝野・佐々木・近藤・柏崎  
地代所・鈴木・木村

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	9人	3人	人	13人

前回の改善計画
<ul style="list-style-type: none"> <li>・訪問や送迎が重なり、少人数でホールを見守る時に対応出来るスキルを経験から身に付けていく。また、人権、プライバシーの保護や侵害がどのような場面で行われ、何が悪いのか自施設内での事例を会議の時間で勉強会を繰り返し行っていき、知識や意識付けの向上を図る。9月から始めた職員セルフチェックを毎月実施、活用し、小さな芽から摘み取れるようにしていく。事業所内での解決が難しい場合は、高齢者虐待防止委員会に報告し、全体の問題として捉え検討していく。</li> <li>・成年後見制度について、ネットや研修で、学びを各々が付けていく。</li> </ul>
前回の改善計画に対する取組み結果
<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月セルフチェックを行うことにより意識付けできるようになった。成年後見制度を利用する方がなく、必要性がないから学ぶ機会がなかった。</li> </ul>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	身体拘束をしていない		✓			13
②	虐待は行われていない	✓				13
③	プライバシーが守られている			✓		13
④	必要な方に成年後見制度を活用している				✓	13
⑤	適正な個人情報の管理ができている			✓		13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の台帳整理は出来ている。</li> <li>・セルフチェックを毎月行うことによりプライバシーを守り、身体拘束や虐待をしないように意識付けできている。現実として「ちょっと待ってくださいね。」の場面はあるが、伝え方、言い方や声のトーン等の配慮は出来ている。</li> </ul>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・家族との連絡ノート、個人ファイルや入浴表などがテーブルに置きっぱなしになっていることがある。ノートを記入している途中で呼ばれたりした時など、そのまま置いたままにしてしまい所定の場所に戻さずにいってしまうことがある。</li> </ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・セルフチェックを継続し、意識付けをしていく。</li> <li>・個人情報であるという意識の問題のため、毎年4月に勉強会を継続して行っていく。</li> <li>・成年後見制度を必要とする利用者に対応出来るように各々が研修などで学ぶ。</li> </ul>	